

～ 校長あいさつ～

本校は、宮崎師範学校の附属中学校として、昭和22年に創設され、本年度72年目を迎える歴史と伝統のある学校です。この間、12,500名の方々が、この学舎を卒業され、県内はもとより国内外の各界、各方面で活躍されています。

令和2年度は、新しく167名の1年生を迎え、15学級（特別支援学級3学級を含む）、494名の生徒たちとともに、スタートいたしました。

本校設置の目的と校名の変遷は次のとおりです。

本校設置の目的

- (1) 教育理論及び教育の実際に関する研究並びにその実証を行う。
- (2) 教育学部の計画に従い学生の教育実習の実施及びその指導にあたる。
- (3) 宮崎県における教育の振興に寄与する。

校名の変遷

昭和24年	宮崎大学宮崎師範学校附属中学校
昭和26年	宮崎大学学藝学部附属中学校
昭和41年	宮崎大学教育学部附属中学校
平成11年	宮崎大学教育文化学部附属中学校
平成28年	宮崎大学教育学部附属中学校

本校には、「我等の目標」という3つの目標があります。

- 一 自発的に学び、真理を探究しよう
- 一 勤労を愛し、お互いに協力しよう
- 一 気品を保ち、健康を増進しよう



本校に集う生徒たちは、中学校生活を通してこの「我等の目標」を大切にはぐくんでおり、その実現のために、本校では、様々な特色ある教育活動を展開しています。

一部の例を紹介いたします。

- 毎日の朝の会や帰りの会で、どの学級からもさわやかな歌声が響きます。
- 全校生徒が一つになる体育大会や橘祭を開催しています。特に橘祭では、合唱コンクールや吹奏楽部、合唱部、英語弁論、総合的な学習の時間等の発表を行います。
- キャリア教育を基盤にした総合的な学習の時間では、「君たちは宮崎のためにどう生きるか」をテーマに探究活動を行っています。
各学年の内容は、第1学年「仕事を体感しよう」、第2学年「仕事を発見しよう」、第3学年「仕事を創造しよう」で、全学年すべての生徒が発表を行います。
- 特別支援学級では、校外活動、園芸や陶芸活動（販売を含む）、就労体験、趣味を生かした活動などを行います。
- キャリア教育の取組として、絵本「小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売られました（著作：原田 剛、筒井則行 出版社：ワイヤーオレンジ）」を基に、行事や生徒会活動等で学び得たものを「ナスビの売り方」にあてはめて振り返ります。
- 人権教育の一環として、生徒、保護者、教師、カウンセラーが一堂に会する PTCC 討論会や、異年齢集団のなかで人権について考え合う illuminate of Human Rights を実施しています。
- 今年度より、Hokuto planner を作成し、見通す力、メモする力、振り返る力などを高めていきます。
- ファミリー活動として、体育大会、橘祭、PTCC 討論会、清掃活動を、学年を超えた縦割りで活動しています。

「我等の目標」と本校設置の目的の達成のために、教職員がチームとなり、生徒の教育活動の充実、保護者や地域の方々に信頼される学校づくりに邁進してまいります。

今後とも、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

※ 本年度の公開研究会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、当初の計画を変更して実施する予定にしております。詳細は本校ホームページでご確認ください。

令和2年4月

宮崎大学教育学部附属中学校 校長 川口 浩倫